

政務活動報告書

令和2 年 1月31日

〔会派名：自由クラブ 〕

代表者氏名	山下 登 	記録者氏名	柏 元三 
活動者氏名	柏 元三		
活動日	令和2年 1月17日（金）～令和 年 月 日（ ）		
活動先	京都市立御所南小学校		
活動目的	「読解力教育研究発表会」視察		



文部科学省の新しい教育指針である「生き抜く力」を育むために、判断力、思考力、表現力の学習が重要視されており、そのための学習メソッドとして「読解力学習」が注目されている。御所南小学校は文部科学省の研究開発指定校であり、「新しいタイプの学校運営のあり方に関する実践研究校」にも指定されており、小学校1年生から読解力の授業が行われている。

研究発表会には全国から350人以上の教師・教育関係者が参加していた。「生き抜く力」には総合的な人間力の養成が必要であるが、その基本が「相手の考えを聴き取る力」「自分の考えを相手に分かるように伝える力」であり、「論理的思考力」である。読解力は論理的思考を学ぶ上で最も有効な学習法と思われる。

読解力教育は基礎学力を学んだ後、小学校4年生からでなければ難しいと思い込んでいたので、小学校1年生から「どのような指導」しているか関心があった。

1年生の読解力学習は自分たちが日ごろ目にしている「商店の看板」の分類と「なぜそのように分類したか」の発表であった。日常何となしに見過ごしがちな町の風景を教材にして注意力、理解力、判断力、思考力、表現力を学習することができることを知り、目から鱗の驚きであった。教師が素晴らしい。教材の研究から教え方は並の教師では真似さえできないと思えた。反省会で特に感じたことは、御所南小の教師には「自分は御所南小の教師である」との気概と熱意が満ち溢れていたこと。中には若さと未熟も見られたが、御所南小の環境であれば、立派な教師に成長することは間違いないでしょう。また御所南小学校は18年以上前からコミュニティスクールを導入し、その運営はほぼ確立されている。発表会の最大の収穫は「コミュニティスクールの資料」が入手できたこと。

全国を見渡せば、社会情勢に遅れないように、先進的な学校運営に取り組み実績をあげていおる学校は少なくない。普通の学校が優秀な学校に変身した歴史を辿ると「優秀な校長」と「優秀な教育長」の存在が不可欠と思える。「学ぶ」ことは「真似ぶ」ことから始まる。名張市が真似るべきことはたくさんある。

名張市の発展への道は「学校教育」以外に見当たらない。市政に係る者たちが一日も早くそのことに気づき、具体策を論じ実践することを願っている。